

テロリズムを敗退させる唯一の方法

【訳者注】テロリズムには国家スポンサーがあるという、この問題を、ここでおそらく 10 回近く取り上げているだろう。読者から、もうそれは十分わかったと言われそうだが、これをまたしても取り上げるのは、なるべく多くの人にその証言をしてもらおうという意味と、もう一つは、最近のあるテレビの討論で、テロの動向について話しながら、ひと言もその背後の存在に言及しなかったからである。これは不自然なことである。“イスラム国”のようなものが、突然、“発生”して、自前で世界を脅かす勢力になるわけがない。ジハードという宗教的動機は強いかもしれないが、それさえ、CIA が学校と教科書まで作って徹底教育している。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170618.pdf> また、米連邦議会で「テロ支援をやめよう」という法案まで出た（そして否決された）のだから、これはもう秘密などではない。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170623.pdf>

このテロリストたちはアメリカにとって、かつての奴隷のような「資産」であって、CIA assets と呼ばれている。敵対するよう見せかけるだけで、本当に敵対するわけがない。この論文は、モスルでは、彼らを掃討するよう見せかけて、彼らの逃げる「回廊」を設けたと言っている。おそらくその通りであろう。もう一つ重要なのは、ここで言っている戦闘中の補給の問題である。誰が補給するのか？ これがなければ、彼らは戦うことも、おそらく生きていくこともできないだろう。誰がそれをするのか？ 誰が彼らを温存するのか？ 「ロシア人は敵です」と教科書で現地の子供たちを洗脳している国家に同調する、“ならず者” 国家群である。

Stephen Lendman

Global Research, June 19, 2017

ISIS、アルカーイダ、またそのシンパ諸集団は、外国の支援——アメリカ、NATO、トルコ、サウジアラビア、イスラエル、その他、その地域のならず者国家からの支援——によって活動が成り立っている。

ワシントンがこれらの集団を創って、その兵士たちに資金や、武器・弾薬を供給し、訓練や指令を与え、帝国の歩兵として戦争劇場に配備している。

彼らは、ワシントンが政権交代を狙うどんな国にも現れる。最も新しくはフィリピンに現

れているが、おそらくその目的のためであろう。

アメリカの言う**テロとの戦い**とは、悪ふざけである。彼らが言っている反 ISIS 作戦とは、彼らが人類の敵だと言うものを支援するものである。

モスルでは、その何千もの戦士たちをシリアに再配備するために、回廊（普通、市民を逃すためのもの）を設けている。北シリアでも同じようなことが行われ、兵士をラッカから南方へうまく逃し、これを新しい場所で使っているようだ。

タス通信によれば、

「シリアのロシア軍グループの司令官は、イスラム国戦士たちが、ラッカから南方のパルミラへ退却しようとするのを、阻止する処置を取った。」

「テロリストたちは、パルミラに向かうという条件の下で、妨げられずに退却する機会を与えられていた。」

金曜日、セルゲイ・ラヴロフは、トランプ政府のシリア政策を激しく非難して言った――

「アメリカに率いられた連合軍は、オバマ大統領政権のときと全く同じ振る舞いをしている。」

「彼らは、ジャバト・アルヌスラを攻撃から守るための、あらゆる努力をしている。これは非常に驚くべき問題だ。我々はアメリカのパートナー（ママ）との接触のさいに、このことをよく訊ねるのだが、はっきりした返答を得たためしがない。ちゃんとした返答が欲しい。」

アメリカとロシアの目的は、全く別である。アメリカは**テロの戦い**を、そうでないと言いながらやっており、ISIS、アルヌスラ、その他、同類の集団を支援している。

大国の中でロシアだけが、シリアのテロリズムと効果的に戦っており、ワシントンや、そのならず者同盟国が破壊しようとする、この国の主権と領土的純正さを、尊重しようとしている。

金曜日に、プーチンの報道官ドミートリ・ペスコフは、ロシアと共同してテロリズムと戦おうとしないアメリカを批判した。人類共通の敵に対する共同の戦いをする代わりに、両国は

シリアの戦争の両側に立っている。

5月28日に、ロシアの軍用機が、北シリアのISIS指令部を攻撃したが、そこでは、リーダーのAbu Bakr al-Baghdadiと彼の指令系統の他の者たちが、ラッカからの戦士たちを、南回廊を通して逃がすための、出口ルートを検討していた。

ロシアの防衛省によると、アルバグダディは、他の高い地位のISIS司令官や、数百名の戦士たちとともに、「空爆で死んだ」と思われている。

セルゲイ・ラヴロフは、アルバグダディの死について「100%の確証」は得ていないと言い、彼が死んだという最初の報告は間違いだとわかった、と言った——

「テロ集団の首脳を除くための作戦は、これまでの経験では、常に、熱烈に誇らしく報告されるが、経験では、これらの集団はきまって後に、戦闘能力を回復している。」

彼らと、彼らの「数多くのよみがえった者たちが、依然として活動している」——その理由は、ワシントンとそのならず者同盟国の支援のためである。**それなしには、これらの集団は生存できない。**

彼らの重兵器や、弾薬や、他の物的な支援の出所は、外国である。彼らは、他のすべての戦闘隊と同じく、自分自身を支えるための恒常的な再補給を必要としている。

それを完全に断ち切るならば、このような集団は枯渇して消え失せるだろう。これが彼らを敗退させる唯一の方法である。

現状では、彼らが配備されているすべての国で——アルバグダディのような司令官がいても、いなくても——この者たちが深刻な脅威になっている。なぜなら、ワシントンは、その帝國的利益のために、彼らが用いられることを望んでいるからである。

——以上